

府民利用施設調書

平成24年4月1日現在

施設名		京都府立丹後郷土資料館						
施設概要	所在地	宮津市宇国分小字天王山		設置年度	昭和45年（築年数42年）			
	設置目的	主に京都府北部の歴史、美術、考古、民俗などの資料等に係る次の事業を行い府民の文化的向上に資する。 1 収集、整理及び保存に関すること。 2 調査及び研究に関すること。 3 展示及び活用に関すること						
	経過							
	施設機能	主要設備		主な利用料金(条例上限額)				
		第1・第2展示室、旧永島家住宅		普通展示：一般200円(150円)、小・中学生50円(40円) 特別展示：一般250円(200円)、小・中学生70円(50円) ※括弧書きは団体料金(20人以上)				
		第1研修室		午前：4,000円、午後：4,000円(1日利用はそれぞれの額の9/10)				
		第2研修室		午前：2,100円、午後：2,100円(1日利用はそれぞれの額の9/10)				
		第1～3収蔵庫、研究室、作業室等						
指定管理者制度の導入施設の場合、その管理者		指定期間	直営施設		所在地			
		選定方法			種			
収支と人員配置	収支実績 (単位：千円)	年度	21年度決算	22年度決算	23年度決見	24年度予算	備考	
		支	管理運営費合計	72,923	66,078	67,344	69,011	
		出	人件費	58,511	55,241	56,394	56,642	
			物件費	14,412	10,837	10,950	12,369	
		収	収入合計	72,923	66,078	67,344	69,011	
		入	利用料金	756	369	334	985	
		その他収入	15	15	15	15		
		府支出額(一般財源)	72,152	65,694	66,995	68,011		
		収支	0	0	0	0		
		人員配置 (単位：人)	職員数	計	正職員	嘱託職員	臨時職員	その他
			9(うち非常勤4)	7(うち非常勤2)	2(非常勤)			
利用状況等	利用者数	21年度	13,053(うち出前1,029)人		主要設備 利用率 (平成23年度)	/		
		22年度	9,543(うち出前1,403)人					
		23年度	10,258(うち出前1,688)人					
		ピーク時(4年度)	14,449人					
		計画数値	人		利用率 算出方法			
	利用の特徴 (府外・地元利用、年齢層等)	利用者の多くは、丹後・中丹地域の人々である。小中学校による学校利用は約15%(宮津市・伊根町・与謝野町の学校の利用率が高い)、65歳以上の利用は約35%である。来館や電話による歴史資料調査や相談は年間1,000件を超える。管内団体への出前講演等も15件行い、学校教育及び生涯教育支援ニーズに依っている。平成23・24年度はクールスポットとして無料開放。						
	府負担コスト (平成23年度)	利用者1人あたりコスト (府支出額/利用者数)	2,156円 (6,531)円	府負担割合 (府支出額/収入総額)	98.5% (99.5)%	※展示事業等に係る管理運営費は全体の約3分の1		
	今後5年以内の建て替え、耐震補強、大規模修繕等	必要性(有 無)	内容	庇落下防止等				
	主な代替・類似施設	類似施設：綾部市資料館、宮津市歴史の館(休館中)、丹後古代の里資料館、はにわ資料館(以上学芸員不在)※いずれも、各市町域の文化財のみを扱う。 (参考・近畿府県立：滋賀県立安土城考古博物館(入館者数：②55,884人)、大阪府立近つ飛鳥博物館(②118,460人)、大阪府立弥生文化博物館(②90,556人)、兵庫県立歴史博物館(③96,378人)、兵庫県立考古博物館(③136,010人)、奈良県立橿原考古学研究所附属博物館(②62,447人)、和歌山県立博物館(②28,374人)、和歌山県立紀伊風土記の丘(②21,218人)						